

## ヌマガレイとの交雑個体の存在

### ■多くの交雑個体の存在

今回の調査では、目が左側にある稚魚（ヌマガレイとイシガレイの交雑個体と思われる）が多数採集された（Fig.1）。また、先月と同様に河口で採集した個体（Fig.2）の平均全長が、水門付近で採集した個体（Fig.3）の平均全長より大きかった（Table.1）。

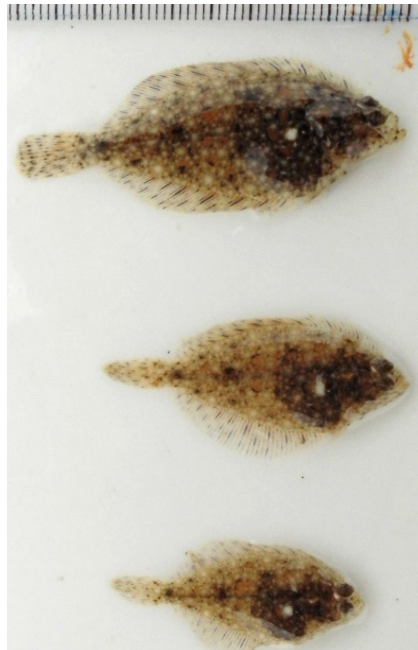
イシガレイの他にも、ハゼの仲間やボラの稚魚、エビジャコノ仲間など様々な生物が採集され、家族連れが網を持って生物を探す姿が見られた。

全長 (cm)	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0		3/21 平均	4/22 平均	5/13 平均
河口(匹)		2	4	2	4	1				1.6cm	3.1cm	3.9cm
河口交雑個体			1		1	1						4.3cm
水門付近(匹)	2	4	3	5	2	1				2.3cm	2.8cm	3.6cm
交雑個体	1	3	5	3		1						3.5cm
潟湖内(匹)						1	1			4.0cm 1匹	7.5cm 1匹	5.3cm
交雑個体		1										3.0cm

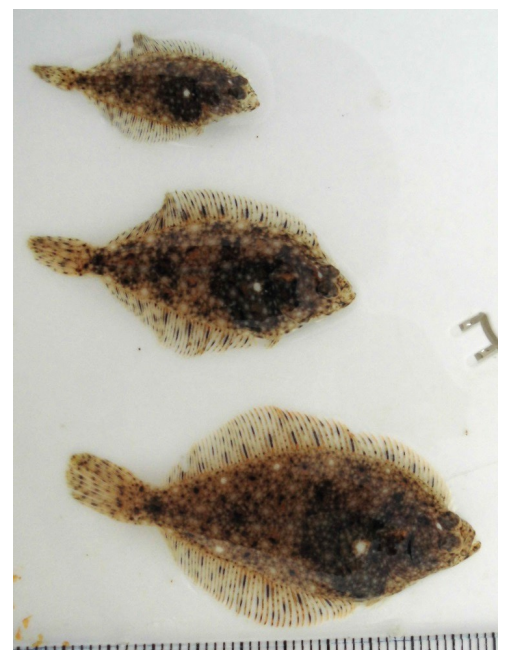
(Table.1 採集した稚魚の全長と数・平均全長)



(Fig.1 目が左にある個体 水門付近で採集)



(Fig.2 河口で採集した稚魚)



(Fig.3 水門付近で採集した稚魚)